

高倉山真野寺

真野の大黒様として知られる高倉山真野寺は奈良時代、神亀2年（725年）に高僧行基が開いたとされる、古い歴史あるお寺です。

鎌倉で最も古いといわれる杉本寺（734年）よりも10年前に建立された古刹です。

観音堂に収められている本尊は「覆面千手観音立像」（千葉県文化財指定）で、日本で一体だけのお面をかぶっている観音様です。高さ1.72m。その左右には観音様をお守りしている「木造二十八部衆立像」（千葉県文化財指定）が並んでいます。

大黒様修復後初の大黒天福祭りを行った真野寺の様子です



当時の久保地区の方々が国家の平和と人々の幸せを願って寄進した 「木造二十八部衆立像」

2月6日の「大黒天福祭り」が有名になったのは明治時代よりと言われており、当時は東京深川まで、「大黒様」を広く伝えるために、大八車に乗せて船で運んでいたと言い伝えが残っています。今でも南房総ばかりでなく広く関東一円から参拝者が訪れます。中でも5日深夜～6日早朝にかけては、観音堂から階段下までずっと参拝者が並び交通整理が出るほどの人出があります。

「朝日開運大黒天像」（千葉県文化財指定）は高さ1.4m、重さ80kg以上楠木の一木造りで関東地方に残る大黒天の古像では最大級といわれています。

昨年、足・鼻・腰の裏側の修復を終えました。大黒様はいつでも見ることができますが、普段は幕が下りていてお顔があまり見えませんが、「正月6日まで」「2月5・6日の大黒天福祭り」「秋の三古寺公開」の年3回、幕を上げライトアップするのでお顔を良く見ることができます。



修復中の大黒様

～大きな袋を肩にかけ～めったに見られない後ろ姿



大黒天祈禱所にある初代伊八の作品
お寺さんに声をかければいつでも拝観できます

観音様公開はこれまで丑年午年の御開帳時だけでしたが、四年前より千倉の小松寺さん、丸地区の石堂寺さんと連携し、「三古寺公開」を行っています。

普段観る事が出来ない観音さまや大黒様、二十八部衆立像ほか多くの仏像の公開は、毎回好評です。

今年は11月25日を中心に10日間ほど予定しています。

地域の
かわら版

まるやま No.49

発行:平成27年3月12日(月1回程度発行)

発行元:郷づくりまるやま 編集:地域づくり支援員

〒299-2592南房総市岩糸2489(丸山地域センター内)TEL:0470-46-2388

FAX:0470-46-3991

URL:<http://civil.mboso-etoko.jp/group/detail.asp?id=84>



ほっとスポットひだまり

第三十八回「ほっとスポットひだまり」が12月10日(水)安馬谷青年館で開催されました。年の終わりを楽しく過ごそうとの話から、カラオケ、領家さんの手品と横山さんから「森林セラピー」についてお話して頂きました。

次回は3月27日(金)鯨岡集会所で開催です。みんなで「たのしくお話ししましょう」という集まりです。お気軽にお越しください。



3月27日(金)13時~鯨岡集会所開催

武蔵野市市民交流ツアーに参加して

去る1月31日(土)、友好都市交流協議会長、地域づくり協議会会員、市役所職員総勢18名が参加して南房総市の友好都市にあたる武蔵野市への市民交流ツアーに参加しました。

市役所本庁舎を出発一路武蔵野市へ、現地は前日の雪が残っていて非常に寒い日でした。

南房総市民団は、到着後、三鷹の森ジブリ美術館を見学し、吉祥寺南町コミュニティセンターを訪問、会員と地域づくりの取り組み、自主防災等について意見交換し交流を深めました。また、井の頭恩師公園の散策ツアーに参加、武蔵野市観光機構ボランティアガイドによる、おもてなしの説明を体感しながら公園内を散策、夕方から吉祥寺東急インにて武蔵野市邑上守正市長、市役所職員、平成23年・25年交流ツアー参加者を交えて交流会が行われ、市民活動、観光等の話で盛り上がり親睦を深める事が出来ました。 記事投稿 小柴 芳美



地域の情報

国道410号線沿い(石堂付近)でサクラソウがきれいに咲いています。



国道410号線沿いの丸山石堂郵便局前や付近の数か所でプランターに植栽したサクラソウがきれいに咲いています。

この花は、丸小学校で仕立てて、地域の方たちと一緒に子供たちの通学路に設置したそうです。近くを通りかかった際は、ぜひご覧ください。

